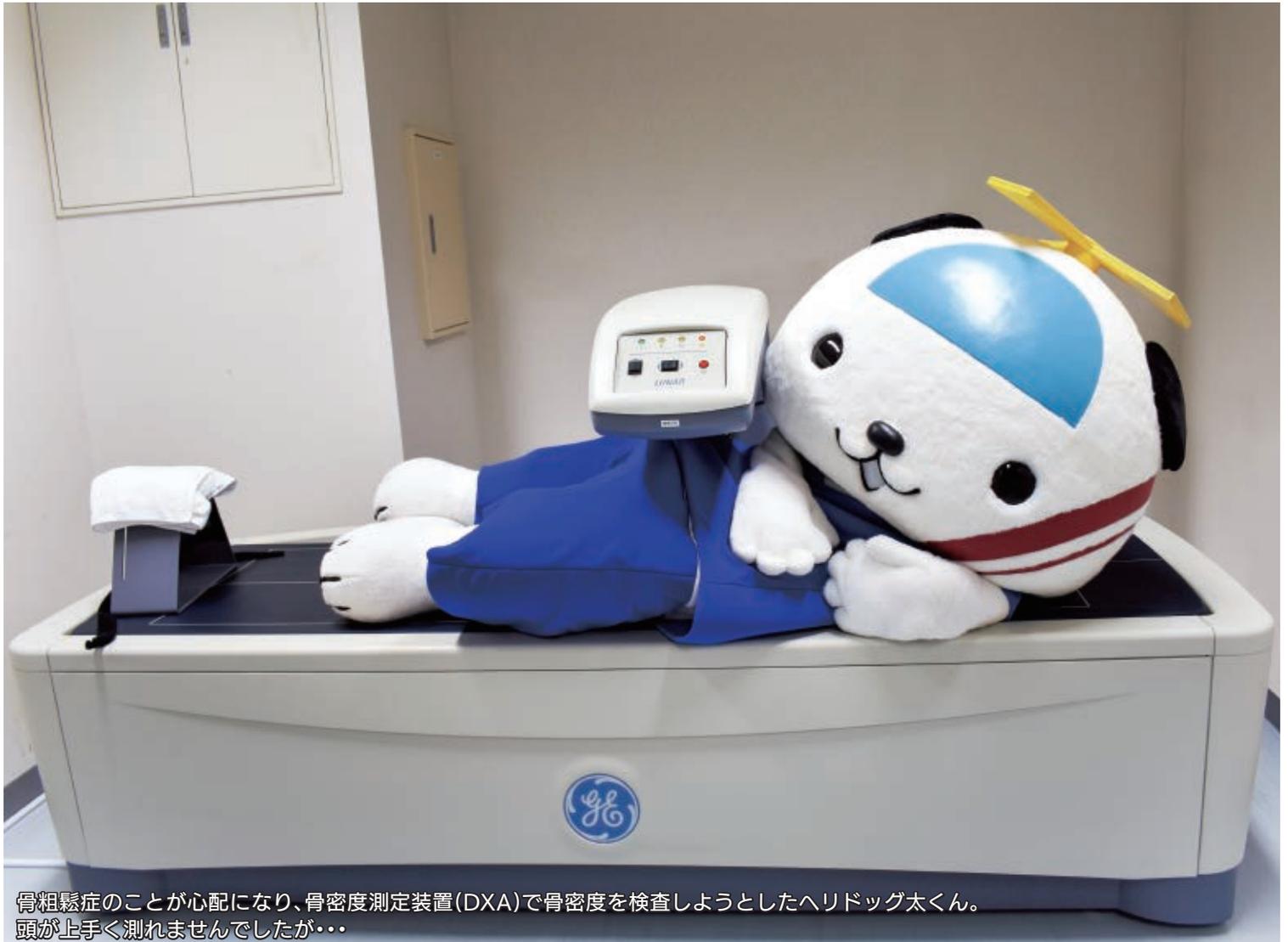


専齋 **SENSAI**



骨粗鬆症のことが心配になり、骨密度測定装置(DXA)で骨密度を検査しようとしたヘリドッグ太くん。頭が上手く測れませんでした・・・

診療科紹介 update

Vol.9 整形外科 PART.1

医長紹介～私の専門分野～

低侵襲で患者さんにやさしい上部消化管手術

明日を担う Vol.13

・ 神前 豪(企画課 契約係長)

TOPICS

- ・ 新任医師紹介
- ・ 熊本豪雨へのDMAT派遣を終えて
- ・ 災害訓練
- ・ 夏の思い出写真

行事予定

看護部だより Vol.24

地域医療連携室からのお知らせ

長與 専齋 (1838年～1902年)

大村藩御殿医の家系に生まれる。緒方洪庵の適塾に学び、福澤諭吉の後を襲い塾頭となる。初代衛生局長として我が国の近代医療制度の確立に尽力した。衛生という言葉をはじめ採用したのも専齋である。専齋の生家は「宜雨宜晴亭」と呼ばれ、長崎医療センター敷地内に移築されている。

診療科紹介

Update

Vol.9



整形外科 PART.1

運動器とは、骨、関節、靭帯、腱、神経、筋肉などが含まれ、立つ、歩く、物を持つなど自分の体を動かすために必要な部分です。運動器が障害されれば、生き生きとした生活を送ることができなくなります。整形外科は、運動器の病気(疾患)や怪我(外傷)を治療する診療科です。判りやすく申しますと、頭と内臓以外はすべて整形外科の分野です。

私たち整形外科医師スタッフは、長崎大学から5人、佐賀大学から1人派遣され、1 teamとして医療を行い、日々研鑽しています。今年度のトピックスとしては、人工関節置換術に際し、正確な人工関節インプラント設置技術・治療成績向上のため、人工関節ナビゲーションシステムが導入されました。(図1)(図2)



図1 手術用ナビゲーションシステム

手術用ナビゲーションシステムは、手術中、関節の形状や位置を計測・表示して手術状況を知らせ、最良な手術結果へサポートするシステムです。例えば、自動車に搭載されているカーナビが現在位置や道案内を行い、安全運転を補助するのと同様です。

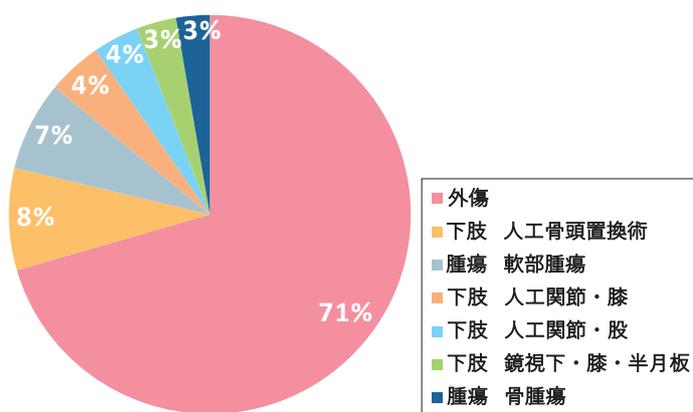
コンピューターや赤外線CCDカメラといった最先端の技術を利用して股関節、膝関節のさまざまな計測を行ない、患部の状況を1/10mmの単位で画面に表示できます。専用器械を用いれば計画通りのインプラントの設置のための正確な骨切りや靭帯バランスを実現することで、より正確で安全な手術を可能にします。



図2 ナビゲーションシステムを使用した人工関節置換術（クリーンルームでの術中写真）

当院の診療基盤である救急医療におきまして、ドクターヘリの活動により脊椎脊髄損傷、骨盤骨折を含む多発骨折などの救命救急を要する重度多発外傷が頻繁に搬入されるので、脊椎、骨盤や四肢骨折の創外固定および観血的固定も、各診療科と連携・協力し積極的に行っています。そのため、外傷全体で年間の手術数の半分を占めています。

整形外科疾患は、小児から高齢者、頸から手足急性疾患から慢性・変性疾患と幅広い守備範囲を有しています。私たちが幅広く整形外科疾患に対応することが使命です。新型コロナウイルス蔓延の対策もあり、不要・不急の治療は優先しない原則に則しますと、外傷が優先となってしまいます。高次医療機関である当院には合併症が多い特に高齢者の骨折外傷に診療時間・病床を割かれているのが現状です。



2019年度手術内訳:主要10手術に関して (分布)

大腿骨頸部骨折	58
橈骨遠位端骨折	52
軟部腫瘍	40
膝関節症	34
大腿骨転子部骨折	31
足関節骨折	26
上腕骨遠位部骨折	20
腰椎圧迫骨折	19
股関節症	18
半月板断裂	17

2019年度入院内訳:主要10疾患に関して (症例数)

次号のPart2では、整形外科における高齢化問題、特に骨粗鬆症等について説明させていただきます。

低侵襲で患者さんにやさしい上部消化管手術



外科医長 米田 晃

2020年4月1日より外科医長として赴任させていただいております米田 晃です。長崎大学卒業後、2003年に長崎大学移植・消化器外科に入局し、今年が17年目となります。2013年から2015年まで大学で上部消化管疾患の診療に従事し、その後2年間アメリカでの研究留学の後、2018年から2019年まで再び大学で上部消化管疾患を専門に診療を行ってまいりました。当院でも胃、食道外科疾患の治療を中心に、貢献できればと考えております。

近年では、食道癌や胃癌の手術においても、低侵襲性やキズが小さいとの利点から、鏡視下手術が広く行われております。当科でも常に鏡視下手術技術の向上に努め、“患者さんに優しい治療”を心掛けております。また、上部消化管手術は呼吸、食事にとっても大きな影響を与えます。そのため、リハビリテーション、栄養管理などのチームサポートによって術後の早期退院と早期の社会復帰が可能となるよう

目指しています。また、胃癌、食道癌の治療には、内視鏡治療、外科手術、抗癌剤治療、放射線治療があり、多岐にわたる専門家の関わりが不可欠となっております。多臓器浸潤を伴うような進行癌であっても根治性が望める場合は、拡大手術や放射線治療や抗癌剤治療と組み合わせ、根治を目指しています。機能温存と高い根治性を目指した消化管手術を目指して、日々研鑽し当地域の医療に少しでも貢献できるよう努力してまいります。

研究留学の際には腫瘍免疫に関する基礎研究を行ってまいりました。大学でも腫瘍医学教室の池田教授にご指導いただきながら免疫治療に関する研究にも従事してまいりました。消化管の再生医療の研究にも関わっており、それら経験をもとに、当科でもいろいろな臨床研究や治験にも積極的に参加し、先進的な治療の発展と導入を目指せるよう頑張っていこうと考えております。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

腹腔鏡下胃切除術



開腹胃切除術

腹腔鏡下胃切除術

- 低侵襲
- 痛みが少ない
- 回復が早い
- 術後の癒着が少ない
- 拡大視効果

図1 胃癌 腹腔鏡手術

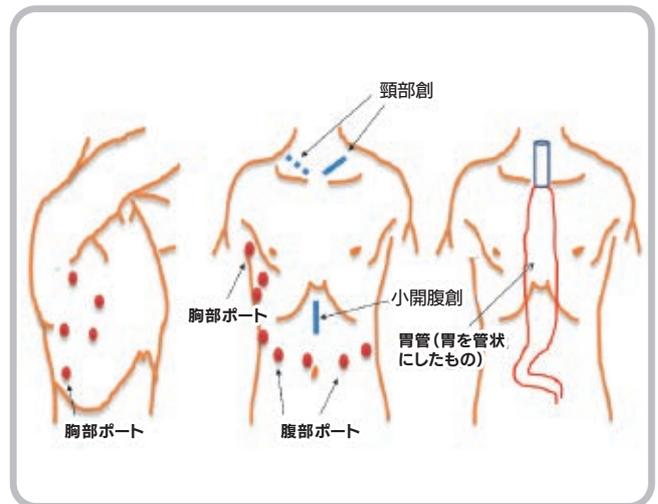


図2 食道癌 手術

明日を担う

Vol.13

当院の“明日を担う”スタッフに、
work、life、そしてvisionを語ってもらいましょう。

企画課 契約係長

かみまえ

ごう

神前 豪

profile

出身地:鹿児島

職種:企画課 契約係長

好きな本:東野圭吾の作品



Q：国立病院機構を受験したきっかけは何ですか。

A：親族が医療関係の仕事で、よく病院での仕事の話聞いていたこともあり、病院での仕事に興味を持ちました。就職活動の中で、国立病院機構は事務職系総合職の中でも業務内容が多岐にわたり興味深かったことと、出身も大学も九州だったので、九州で働きたいと思い、国立病院機構九州グループを目指すようになりました。

Q：大学では何を学んでいたのですか。

A：工学部の情報システム工学科に属していました。プログラミングなどの情報処理技術等を主に学んでいたため医療とは無縁な学部です。でもパソコンを汎用していたので、現在の実務でも役立っています。

Q：入職後はどのようなキャリアを歩んできましたか。

A：別府医療センターで契約係を2年、その後国立病院機構九州グループで医療情報係、総務係を3年経験させていただきました。主にはコメディカルの研修の調整から職員の労務関係の業務等、庶務的な実務を担当していました。

Q：契約係ではどのような仕事をしていますか。

A：契約係は病院経営に関わる、さまざまな契約事項を担当する部署です。医薬品や医療材料の購入、業務委託や工事などの契約業務を

行っています。本年4月から契約係長として、医療機器の購入、委託契約の締結業務を主に担当しているのですが、他社と関わる機会も多く、様々な職種の人々と日々折衝しています。

Q：仕事で大事にしていることはなんですか。

A：契約係として、より安くものを買うこと、より安く契約することに注力しています。少しでも病院経営に貢献できればという高い意識をもって業務に臨んでいます。

Q：趣味は何ですか。

A：観光地巡りが好きなのですが、コロナの影響で最近はどこにも行けていません。長崎ははじめてなので、落ち着いたら長崎の観光地巡りがしたいなと思います。

Q：今後の目標を教えてください。

A：事務部は病院の経営戦略の検討、診療報酬の管理業務、職員の労務管理等様々な業務があります。まずは多種多様な業務をこなせるオールラウンダーとなり、スキルアップしていければと思います。目下は契約係が良い雰囲気の仕事ができるような環境作りもしていきたいですね。

聞き手:難治性疾患研究部長 小森 敦正

新任医師紹介



眼科医師
時村 源一郎

眼科新任の時村です。一所懸命頑張ります。宜しくお願い致します。



眼科医師
岡 朱莉

8月より眼科医師として赴任してまいりました。長崎医療センターでの勤務は初めてとなります。まだまだ未熟な点が多く、ご迷惑をおかけすることが多々あるかと思いますが、大村の医療に貢献できるよう頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

TOPICS

熊本豪雨へのDMAT派遣を終えて

業務調整員(薬剤部薬剤師) 網脇 徹意



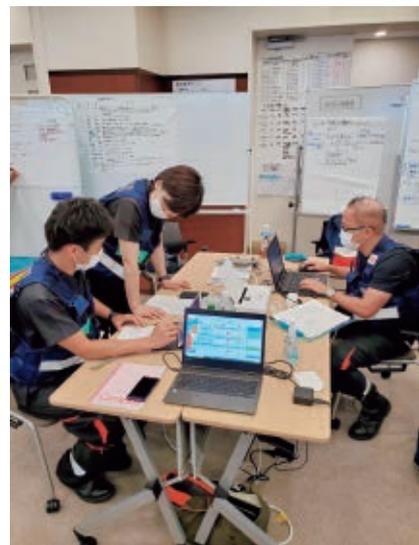
2020年7月8日から10日まで長崎医療センターDMATとして、救急科の中道先生、日宇先生をリーダーとした2チームで熊本県へ赴き、医療支援を行いました。

八代市にある熊本労災病院に参集し、本部の指示の下1～2日目に、中道先生の隊は、八代地区の医療機関の損害状況や不足物品などの最新情報のEMIS(Emergency Medical Information System)入力を行いました。日宇先生の隊は、老人ホームなどの施設の被害状況の確認、入所者のメディカルチェックを行いました。3日目には、さらに被害の大きい水俣地区の本部立ち上げを支援する隊と、八代地区の医療機関、施設の状況確認を行う隊に再編し、活動しました。



3日間と限られた日数でしたが、八代地区の医療機関・施設の迅速な状況の把握や水俣地区の本部設置の支援により災害直後の被災地へ大きく貢献できたのではないかと思います。

最後に、派遣に関してご尽力いただいた関係各所の皆様に深く御礼申し上げます。



TOPICS

令和2年度集団災害訓練を終えて

救急科医師 中原 知之

今年度も院内災害訓練を実施しました。想定災害は、大規模地震が発生し、当院も被災した中で多数の傷病者を受け入れるというものでした。

私は主に、初療エリアの統括という立場で重症患者さん全体の把握をし、検査、治療の優先順位をつけるという役割を担いましたが、散々な結果でした。

災害時にとるべき行動の指針となる合言葉として“CSCATTT”というものがあります。

C (Command & Control：指揮と連携)

S (Safty：安全)

C (communication：情報伝達)

A (Assessment：評価)

T (Triage：トリアージ)

T (Treatment：治療)

T (Transport：搬送)

の頭文字をとったものですが、CSCAの確立無しにTTTは成り立たないとされています。

今回はCに当たる役割の明確化と情報伝達が上手くいかず、情報が滞り、その結果多数の患者が滞って検査、治療が遅れ、防ぎえた死亡が3人も発生する結果となりました。災害で混沌とした中でも、しっかりとシステムを確立した上で診療を進めなければならないと実感しました。

台風や大雨で災害が身近なものになってきている昨今ですが、今回の訓練での反省を踏まえ、実際の災害時に備えておきたいと思いました。



医療センター講演・研修・テレビ出演等(10月)

(敬称略)

CPC

開催日	時間	開催場所	内容	講師
10月20日(火)	18:00~19:30	人材育成センターあかしやホール	肝細胞癌	症例担当:川副 靖晃、泊 由里子、中尾 海、天野 菜、 中村 孝明 臨床指導:佐伯 哲、末廣 智之 病理指導:三浦 史郎

当院スタッフの夏の思い出をあつめてみました。



カブトムシ



いっしょに水浴び



コロナ退散



夏の終わり

夏の思い出写真



タンポポ



歯がめけたよ



おうちプール



夏の思い出

看護部だより Vol. 24

手術看護認定看護師としての活動

手術看護認定看護師 原 健太郎

長崎医療センターには、年間約14,500名が新規に入院し、年間約5,200件の手術が行われています。つまり、約3人に1人が手術を受けるために入院しているのです。ライフステージの中でも、「手術」は人生を左右する非常に大きな出来事となります。その大切な出来事に手術室看護師は関わる必要があります。

手術室看護師の役割は、周術期(術前・術中・術後)にある患者さんに対し、専門的な知識と技術を提供するとともに、身体的・精神的なアセスメントを行い、不安に対しては、理解度に合わせた説明を加えるなど、患者さんの想いに寄り添った全人的看護ケアを提供することにあります。そのために、術前訪問を行い、患者さんの言葉を聞くことも大切なこととなります。

私は、手術看護認定看護師として専門的な看護実践を行うとともに、医師・手術室看護師・病棟看護師と情報を共有し、患者さんやその家族に対して、チーム医療としての手術看護を提供できるよう組織横断的に活動しています。また、手術医療の多様な変化に対応し、患者さんに手術創以外の侵襲を発生させないことを目標に、体圧コントロール、ズレカを防止した褥瘡管理や術中低体温を予防する体温管理など、手術室スタッフと協働しながら看護を提供しています。



体位シミュレーションの様子

「全ての手術室看護師が、根拠を持った看護実践ができるようにしたい!」というのが、私が認定活動をする上での目標の一つにあります。若手の手術室看護師も、日々の手術看護実践の中で研究的視点を持った看護ができるように、手術室スタッフ全体で手術看護に関連した研究活動も積極的に行っています。県内における活動では、長崎県手術看護認定看護師会を設立し、長崎県内の手術室看護師を対象とした研修会の実施と他施設における病院間・手術室間の情報共有・フィードバックを行うことで、新人看護師、中堅看護師の育成を図り、手術看護の向上を図ってきました。



新人看護師の器械出しシミュレーション

現在世界中で問題となっているCOVID-19に関しても、どのような状況においても対応できるように、当院スタッフや全国の認定看護師とも情報共有、協力しながらマニュアル作成と対策を進めています。

これからも手術を受ける患者さんや家族が安全・安心な手術を受けられるように、科学的な根拠に基づいた個別的な看護を、手術室看護師、多職種と協働しながら提供していきたいと考えています。

地域医療連携室からのお知らせ

条件付きMRI対応ペースメーカー装着者のMRI検査依頼について

条件付きMRI対応ペースメーカーは、MRI対応といっても様々な制約を受けます。条件付きMRI対応ペースメーカーが埋め込まれている方の検査を依頼される場合は、以下の対応をお願いします。

- ①検査依頼の前に、患者さんのペースメーカー手帳と条件付きMRI対応ペースメーカーカードを準備してください。
- ②条件付きMRI対応ペースメーカーのメーカー名をご確認ください。
(当院ではバイオトロニック社、ボストン社製品は対応できません)
- ③植え込みから6週間以上経過しているかご確認ください。
- ④通常通り当院地域連携室へMRI検査をお申込みいただき、条件付きMRI対応ペースメーカー装着者である旨をお伝えください。
(ご確認いただいたペースメーカー情報についてもお伝えください)
- ⑤患者さんに検査当日の注意点についてご説明ください。
 - I) ペースメーカー手帳と条件付きMRI対応ペースメーカーカードを持参するように説明してください。
 - II) 検査前後に放射線科医師の問診とペースメーカーを確認する為の胸部X線画像の撮影を行います。また、ペースメーカーの調整に時間を要するため、検査の1時間前に来院されるようご説明ください。



条件付きMRI対応ペースメーカーが植え込まれています	
患者氏名: 日藤 花子	
緊急連絡先: <input type="text"/>	
植込病院: コモディオ病院	
病院連絡先: 03-5432-5432 診療科名: 循環器内科	
植込みモデル: A30R01	製造番号: PZK0000000 植込日: 2012/00/00
植込みモデル: S066**	製造番号: LEPO000000 植込日: 2012/00/00
植込みモデル: S066**	製造番号: LEPO000000 植込日: 2012/00/00

重要注意事項

- ICカードは常に携帯し、MRI検査の指示を受けた際には必ず提示してください。
- MRI検査の前に必ずペースメーカー保証書を受取ってください。
- 検査前にペースメーカーモードの変更が必要です。
- MRI検査ができない場合がありますので、ペースメーカー保証書または下記専用ウェブサイトなどをご確認ください。

患者様、MRI検査に係る医療関係者の皆様

- 本カードはペースメーカー本体および2本の誘導リードがメドトロニック社製 条件付きMRI対応製品であることを証明するものです。
- 検査可能な施設に関しては下記専用ウェブサイトでご確認ください。
- 条件付きMRI対応ペースメーカーに関する情報は下記専用ウェブサイト、もしくは下記専用ダイヤルにご確認ください。

日本メドトロニック株式会社
MRI検査に関するお問い合わせ先
0120-001-228

理念

高い水準の知識と技術を培い
さわやかな笑顔と真心で
患者さん一人一人の人格を尊重し
高度医療の提供をめざす

長崎医療センターの使命

長崎医療センターは以下の活動を誠実にを行い、地域拠点病院として住民の皆さんと医療機関からの信頼を得ることを使命としています。

- 安全で質の高い医療を提供する
- 絶対には断らない救急医療の最後の砦となる気概を持つ
- 地域の医療機関、行政と密接に連携する
- すべての医療人と学生に魅力的な教育研修を提供する
- 臨床研究を推進し、国際医療協力に貢献する